

(第6期)第3回さいたま市公民館運営審議会 議事録

1 開催日時

平成24年3月27日(火) 午後1時30分から午後3時30分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 9階学習室2

3 出席者名

委員：12名

楠谷 忠洋	委員長
青島 祐子	委員
岩井 正三	委員
柿塚 一二三	委員
加藤 久美子	委員
久世 晴雅	委員
鶴見 清一	委員
船木 正子	委員
渡邊 紀子	委員
青木 光美	委員
長岡 綾子	委員
高後 仁	委員

拠点公民館長：10名

西区 指扇公民館長	足利 英之
北区 大砂土公民館長	佐藤 一義
大宮区 桜木公民館長	大野 操
見沼区 大砂土東公民館長	鶴見 道子
中央区 鈴谷公民館長	三上 富士夫
桜区 田島公民館長	真下 一男
浦和区 岸町公民館長	細淵 和男
南区 文蔵公民館長	戸張 豊一
緑区 大古里公民館長	秦野 昌明
岩槻区 岩槻本丸公民館長	鈴木 清治

事務局：6名

生涯学習総合センター
館長 中川 晴美

副館長 細見 俊孝
主幹 小川 栄一
主幹兼事業・企画係長 岸 ひろみ
事業・企画係主査 斉藤 明彦
事業・企画係主任 鈴木 睦子

4 開 会

出席状況の確認、第2回審議会議事録の承認を経て議事に入った。

5 議 題

- (1) 平成24年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の基本方針、事業計画について
- (2) 視察テーマについて

6 配布資料

- (1) 平成24年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館基本方針(資料1)
- (2) 平成24年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館事業計画概要(資料2)
- (3) 視察テーマについて(資料3)
- (4) 平成24年度さいたま市民大学募集案内

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

1名

9 会議

- ・会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

- (1) 議題1 平成24年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館の基本方針、事業計画について、事務局及び拠点公民館長(西区・北区・大宮区・見沼区・中央区)より資料1及び資料2に基づき説明した。

楠谷委員長	ただ今の説明について、ご質問等がありますでしょうか。特に拠点公民館の方の関係で何かございましたらご質問をお願いします。
船木委員	それぞれの公民館で地域の特性を把握した上で事業の企画をしていて、自分が子育て中に公民館がこんなに事業をやっているのを知らなかったのもっと情報提供いただければ小学校などにも周知でき

	<p>ると思います。</p>
加藤委員	<p>平成24年度拠点公民館・地区公民館事業計画概要の中で、鈴谷公民館の「人材育成・ボランティア養成事業」の中に「託児ボランティア養成講座」がありますが、私も子どもを公民館に預けさせていただきましたが、当時は託児と保育という言葉についての論議をいたしまして、保育ということをお我々は当時の大宮公民館にお願いして保育ボランティアの養成講座に参加させていただきました。やはり託児だと本当に子どもを預けるだけですけど、保育という言葉の中には地域の子どもをはぐくむ、親に対する信頼関係を子どもと築くと同時に地域の中に親以外にも信頼できる大人がいるというのが、子どもが初めて学ぶ社会教育の場なのではないかということで、私は保育を選択しました。もし、これについて論議されているようであれば教えていただきたいと思います。</p> <p>もう一点ですが、事業計画の中のどこに位置づけるのかは難しいことだとは思いますが、地域課題の中に防災という問題があるということと、災害現場で女性の人権問題が発生するような事件があったという情報を得ておりますので、防災関連また男女共同参画的な視点での事業があればお示しいただければと思います。</p>
三上館長	<p>託児か保育かというお話しで、そこまで深く論議はしていなかったので委員さんのおっしゃるとおりもう一度考えてみなさんに呼びかけるなり、保育していく中での意味について考えさせていただきたいと思います。</p>
細見副館長	<p>生涯学習総合センターの方ですが、配布いたしました市民大学のパンフレットの4ページをご覧ください。この中で教養コース(市民企画コース)がありますが、市民の企画による講座というかたちで市民大学の中のひとつの特色となっております。この中で「市民が主役 防災・まちづくり」という全6回の講座を計画しております。こういったかたちで防災に対する意識の向上を図ってまいりたいと考えております。また、男女共同参画につきまちは、現代的課題ということで実施してまいりたいと思います。</p>
加藤委員	<p>もしできればこのテーマの中で災害の中にジェンダー的視点を入れていただくなど前向きにご検討いただけたらと思います。</p>
岩井委員	<p>公民館は男性が近づきたいところですが、そういう意味で男性を呼び寄せるような企画で苦心されたことがあったら事例としてご紹介ください。</p>
大野館長	<p>そのご意見は重々理解できますが、桜木公民館を見ていると男性は積極的に来ているので、地区の公民館で情報を見ていただいて積極的に参加していただければ、また大勢の方が参加していただけるかたちになるのではないかと思います。地区館の中には男性料理教室とか</p>

	<p>色々な事業を行っていたり、桜木公民館においても囲碁や生涯学習で長らくやっていたOBの方が仲間を連れてサークルづくりをしています。お答えになっているか分かりませんが、男性が少ないと思う前に、やはりご自分の足で来ていただけるとありがたいと思います。</p>
細見副館長	<p>生涯学習総合センターの方では例えば親の学習で子育て中の父親にも参加していただきたいと思っております。それから、市民大学の教養Bコースの中でビジネスマンを対象とした男性も意識したコースがございます。ただ、なかなか人が集まらないという状況の中で、どうしても女性が多くなってしまいますのでそう感じてしまうと思います。大砂土東公民館でオープンキャンパスを実施し、その中でご協力いただいた方の中でベーゴマや草笛など、どちらかといえば男性が得意ですので、そういった方にご協力をいただきながら男性が公民館へ足を運んでいただく機会として捉えていきたいと考えております。</p>
高後委員	<p>学校は地域に開こうと努力をしています。このように地域で学び地域で活躍することで、地域の子どもとして見ていただけるのではないかと感じました。一方で企画していただいても学校のスケジュールもありますので、すべてに協力できるということも言えませんが、地域でこういった取り組みをしていただくことは大変ありがたいです。学校側も努力いたしますので、よろしく願いいたします。</p>
青木委員	<p>私の子どもは今幼稚園に通っていて、子育ての事業は何かないかと探している親の一人です。子どものことを探すときに児童館や子育て支援センターで探しているのですが、そういった所の掲示にできれば公民館の子育て支援に関する事業やサークルの紹介があったらいいと思います。</p> <p>また、こういった施設と現在どのような連携がされているのでしょうか。児童館ですと、子育て支援で親同士の交流の時間やベビーマッサージなど開催されていると思いますが、地域によって児童館があって隣に公民館があるというところもあると思いますが、講座開催による差別化を何か図っているのであればその点と人材的な連携や知識的な連携など何か連携があるのであれば事例を教えてくださいたいと思います。</p>
細見副館長	<p>例えば南区の善前公民館は隣が児童館になっているので、地域との連携の中で考えていくというかたちで検討してまいりたいと思います。</p>
長岡委員	<p>以前、児童館にいたことがあり、地区の公民館長さんのお計らいで児童館と連携して子どもの事業を企画していただいたことがあります。様々な講座の中で様々なテーマが出てフルに公民館はそれを活用して企画しています。公民館長さんのお計らいで他の部署との連携で事業が行われ、児童館の大人も子どもも地域の一員として参加でき、</p>

	とてもうれしく思ったことを思い出しました。
鶴見委員	<p>先ほど男性の方の参加の話がありましたが、特性もあるのかと思います。私も公民館で講座をやらせてもらっていますが、参加している方を見ますと確かに女性の方が多いです。女性は、女性同士で誘い合って来るという方たちもいますが、男性は一人で来るという方は少なく、妻に言われて来るというかたちの参加が多いので、どうしても女性の方が多くなるようです。</p> <p>謝金のことがありました。予算が減ってきている中で、事業を減らすわけにはいきません。ではどうするかといったときに謝金単価の低い人を探すなどご苦労なさっているようです。この傾向は続いていると思います。ですからこの先どうしたらいいかということを経期的に模索し、方法を考えていったらいいのではないかと思います。</p>
楠谷委員長	各拠点公民館長からのご発言の中にもありましたが、毎年予算が減額される方向にあるということでやりくりしていかなければなりません。非常に課題がどんどん増えていくのに予算が減ってくるというのは、公民館運営審議会としましても全体的な問題として考えていかなければならないと思います。
長岡委員	前回公民館事業の資料をいただきました。それを見ていて素晴らしいと思いました。これだけの館が事業を網羅してやっていますが、市民もこれをどう選択していくかが大切です。市民の方も要望や不満ばかりでなく、これだけの講座をどんどん活用していけばよいと思います。公民館の講座をたくさん企画していただいで考えてくださっていると、本当に感謝しております。
船木委員	市民パートナー制度に関して、大砂土東公民館の館長さんから手紙をいただきました。公民館事業に参加すればいろいろな情報もありますし、参加すれば職員とも顔見知りになれるので、ぜひ参加していただきたいと思います。
楠谷委員長	拠点公民館の館長さんには事業につきましてご発表いただき、委員の中からも感謝の言葉がありましたが、今後ともご尽力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館事業計画について、拠点公民館長（桜区・浦和区・南区・緑区・岩槻区）より資料2に基づき説明した。

楠谷委員長	ただ今の説明について、ご質問等がありますでしょうか。
岩井委員	田島公民館の「市民企画講座」について、どのようなプロセスで行うのでしょうか。
真下館長	これは新規事業として行うものです。こういうことを企画したらどうかと考えまして、24年度に公共性や公益性があるものについて講師を発掘しようというものです。24年度に何かをするということ

	はなく、その次の年をねらって長いスケールで考えていきたいと考えております。
岩井委員	これはおもしろい企画だと思います。
真下館長	公共性・公益性ということを守って、環境や高齢など今日的な課題からつめていったらどうかということもありますが、展開によっては違うものになるかもしれません。ただ、そういったこともやっていかないとこれからのニーズもありますし、公民館として取り組んでいく必要があるという考えで進めていきたいと思います。
柿塚委員	秦野館長にお伺いします。さくら草特別支援学校はどこにできて、どういう子どもたちが入れるのでしょうか。
秦野館長	場所は市立病院の北宿通りをはさんだ反対側、西側になります。児童生徒さんですが、身体不自由と知的障害等を併せ持つ児童生徒、現状では40名でございます。小学校・中学校・高校の部がございます。
柿塚委員	私は社会福祉協議会で関係しているものですから、こういう施設を地域にお知らせしてまた勉強に伺いたいと思います。
秦野館長	ちなみに、西の方はひまわり特別支援学校ということで北区・西区・大宮区・中央区というかたちですすでに開校しております。残りの東部の方の浦和区・緑区・南区・岩槻区等の児童生徒を対象にする予定でございます。
渡邊委員	今のお話に関連して、保護者の方と交流をしたときに、保護者の方の望みは地域の方ともっと交流したい、自分の子どもたちが将来お世話になる地域の方々と交流したいという気持ちがとても強いです。緑区・岩槻区では行っていると思いますが、他の公民館でもそういった子どもたちが参加できる講座をやっていただくと誰でも学べるし、地域で何かあったときにあそこにこんな子がいると思えばつながるということがあると思います。公民館もそういった役割を果たす大きな役割があると思いますので、ぜひそういった面もこれから考えていただきたいと思います。
細見副館長	西区のひまわり特別支援学校の隣に公民館を新設します。この新設につきましては、ひまわり特別支援学校やひまわり学園との交流を考えた公民館づくりということを特色として都市経営戦略会議の中で発表させていただいております。地域の特性をいかしてその地域にどういった施設があるかということを考えて今後は地域との連携を深めていくということを考えております。
岩井委員	岸町公民館の「見沼田んぼ写真コンクール作品展」について教えてください。
細淵館長	今年は南浦和公民館で行っています。ぜひ岸町でもやりたいということで所管に確認しました。これから24年度の募集が始まりますので、その作品で岸町公民館で開催したいと考えています。

岩井委員	見沼田んぼ市民ネットワーク会で関わっています。毎年写真の数が 増えているので一人当たりの写真の枚数も制限している状態です。市 街地の中でこういうことをやっていただくのは非常にいいことだ と思います。
鶴見委員	南区の公民館についてお尋ねします。「文化団体交流事業」とあり ますが、どんな方法で行っているのかと会場を教えてください。
戸張館長	今年5回目になりますが、芸能発表会と作品展示会を毎年交互に行 っておりまして、今まで南区と合同で行っていました。23年度につ きましては、作品展示を行いまして、予算がないということと南区と 共催もできないということで、参加者団体が有料になりましたが、文 化センターを会場に行いました。平成23年度は、団体の参加の意向 を確認し、18団体が参加しました。今後につきましては、この18 団体を母体に24年度に準備委員会を立ち上げ、25年度に各公民館 に話をしまして、実行委員会を設けてまいりたいと思います。
鶴見委員	立ち上げは大変だと思いますが、大切なことですので、がんばって いただきたいと思います。
楠谷委員長	今後とも各地域ごとにそれぞれの地域に見合った事業を精力的に 進めていただくことを期待申し上げて本日の会議を終了させていた だきたいと思います。
加藤委員	初めて企業のメセナ活動の話が今日出ました。予算削減の折からこ ういった企業との連携は非常に重要な視点だと思いますので一言コ メントさせていただきます。

(2) 議題2 視察のテーマについては次回の議題とすることを確認した。

(3) その他

- ・ 審議会の議事録について、事前に送付し、指定期日までに確認していただくこと及び
議事録に発言者名を載せる旨を説明し、承認を受けた。
- ・ 次回は、5月22日(火)13時30分から生涯学習総合センターにおいて開催する
ことを確認した。

11 閉 会